

交検Yさんに6月1日付、出向の事前発令通知！

所長・管理者の対応は、極めて形式的で不誠実だ！！

5月17日、交検のYさん（JR東海労働組合員）に6月1日付で新幹線メンテナンス東海株式会社への出向を命ずる発令『事前通知書』が手渡されました。

この事前発令の前段では、面談も数回行われましたが、極めて形式的であり、そこで主張した本人の疑問や要望について、全く無視されていたというのが現実です。

Yさんは『現場がいやだから出向に出して下さい！』などと希望していたわけではありません。今回の件では、出向先も明らかにされない中でも、最初の面談から「体調面で数年前から通院し薬を処方してもらっている事」「産業医にも健康診断の都度、その事を申告していた事」を告げていました。ようやく発令前の事前説明で出向先が「SMT」である事が告げられました。当然、その時も「SMTの夜勤は、体調の関係で出来ません！」と金山科長に告げていました。

その面談から数日後の5月17日所長より事前通知が手渡されました。

Yさん：「なぜ私なのか？」

所長：「Yさんの色々な事。SMTの色々な事を判断して決めた！」

Yさん：「血圧が高い。他にも薬を飲んでいる！ 夜勤はダメだと面談で言っているが、考慮されているのか？」

所長：「上には伝えてあるが、出向先が考えることだ！」

Yさん：「他の人にも打診したのか？」

所長：「さっき言ったように、他にはしていない！」

これでは、とても安心して出向には行けません！ 出向させるにあたっては、会社が責任をもって安心して働ける条件を整えてから出向させるのが当然です！

この所長の説明では到底納得できないとして『簡易苦情申告票』を提出しました。

『5月17日、所長からSMTへの出向の通知を受けた。60歳退職（9月）を目前にした前例のない突然の出向命令である。「なぜ私か？」「病気の配慮は？」などを所長に聞いたが、誠実さのない抽象的返答であった。』

また、この「簡易苦情申告」申請に対する伊藤（事務）助役の悪意ある言葉からも今回の出向が通常の出向とは異なる不当な差別人事と強く感じた。』

という理由からです。（伊藤助役の悪意ある言葉については、役員まで！）

それ以降の会社・管理者の言動やSMT関係者、他労働組合員から寄せられた多くの情報等からも「日勤である！」との話は全く聞かれませんが、むしろ、「あえて夜勤に入れるのでは?!」との情報でした。これが事実ならたまりません！

直ちに、会社に「産業医との面談」を申し入れました。驚くことに、極めて手際よく、その翌日（26日午後）に面談が実施されました。その際、産業医には、かかりつけの医師の『診断書』を提出して「夜勤は出来ない！」と訴えました。

私たちは、出向に際しては、本人の意思を尊重するのが第一だと考えます！ 理不尽な制度や施策とは今後も断固闘います！